

灯ろう流し 8月16日(土) 総集
ご先祖の供養と願を込めて

森とせせらぎネットワーク主催の灯ろう流しが、多くの参加者と近隣の皆様そしてボランティアの方々によりまして無事終わりました。
以下、開会の代表挨拶です。

ご紹介頂きました森とせせらぎ ネット代表の平井でございます。



今日は、昼前には素晴らしい灯ろう流しのお天気でしたが、いま小雨が降り皆さんも心配です。私達一年に一回地球の安全、安心、そして世界平和の願を込めてご先祖代々の霊

を慰めあの世に旅去った人達の霊を今日、このせせらぎで灯ろうを流す事によって亡くなられた故人が生き返って私達のご指導ご鞭撻をして頂く事になります。私達は代々の先祖があつて生きています。又、子供や孫に受け継がれていきます。この様な事が伝統的につながりをもって灯ろう流しの意義が有ると思います。

この灯ろう流しの行事にあらゆる団体のご協力を頂いています。まさかこのせせらぎでたらい舟が



流される事を私達役員は20年前には（江川の水と緑を考へる）夢にも思わぬことでした。

自分が75年前に皆様の年代に戻る遊び慣れた江川がこの様な形で復興され、健康の為ウォーキングされたり、大勢の地域の人達が花や植木を丹精させせせらぎが素晴らしい構想のもとで300億円近いお金がかかって有効に使っている事を役員が伝えて行きたいと思いま

す。

今日参加された皆さんには私共の意あるところを汲み取って頂きまして灯ろう流しを広い心で慰め



み座の皆さんに出演されてます。文楽を目前で見ることが非常に少ないです。本物の乙女文楽を小さ



い子供さん達は難しいと思いが何回も見ているうちに理解されると思います。今日は、トラペットの演奏

もあります。

末永くこの行事を若い皆様方に受け継いで頂き願を込めまして開催する次第です。天候が不安なところですが、皆様の熱気でこの雨雲を吹き飛ばして楽しい灯ろう流しにしたいと思えます。皆様の更なるご協力をお願いします。代表の挨拶とさせていただきます。

第八回森とせせらぎ祭り 迫る！

田辺勝義（祭り事務局長）

11月9日(日) 橋公園とせせらぎ沿線で開かれる、”子ども未来地域ふれあい水と緑のふるさとづ

くり”を目指す第八回「森とせせらぎ祭り」が迫ってきました。川崎市や教育委員会、中原、高津両区のPTA協の後援や沿線23町会などの協力の下に準備が進んでおり、ここに来てチラシ、ポスターも完成し、出店の数も決まって盛り上がってきました。

せせらぎ沿線では、野生動物センターの小動物との触れ合い体験や若竹幼稚園のスタンプリー、今昔写真展、菊の花展などゆっくり見学でき、人力車も走ります。今年の舞台の売り物はなんと



でも子どもたちのキッズダンスでしょう。初参加のグループもあり、どんな演技が繰り広げられるのか待ち遠しい。恒例になっている井田の子ども囃子、フラダンス、花仙会の舞踊、笑話会の合唱も楽しみだし、ロック・ソーランの勇壮な踊り、華麗なバトントワリングにも出会えます。

そして、松平さんのトラペット演奏は、この3年間の憂さを吹き飛ばし、5年前のように、澄んだ秋晴れの空に響き渡るでしょう。皆さんのご来場を心よりお待ちしております。是非おいで下さい。



10月～11月のせせらぎネット 及び関連団体イベント紹介

- ▼第8回森とせせらぎ祭り
11月9日(日) 午前9時～午後3時半
主会場 橋公園、馬場動物病院で小動物とのふれあい広場、他スタンプリー、人力車あり
- ▼ひとみ座 寄席を楽しむ会
10月25日(土) 15時、19時
人形劇団ひとみ座第一スタジオ
出演は、入船亭扇治、雷間小助、六、鏡味仙三、柳亭こみち
- ▼神庭・里山を楽しむ会
10月25日(土) 神庭く井田山ウォーク
11月2日(日) サツマイモ収穫祭 詳細は、神庭緑地掲示板にてご確認ください
- ▼井田囃子保存会
参加者募集中 参加無料
稽古日毎週金曜日六時半～八時半 井田神社
大人の方も歓迎 問合せ 七六六〇二三五まで

へドロと悪臭との基礎知識 最終編(前号33号)

吉田賢治



この様に、有用微生物はどのような悪条件の中でも良い働きをします。ですから、有用微生物と呼び、有害物

を作り出す微生物を有害微生物といっています。そのほかに日和見微生物がいます。自然界には75%から90%いるといわれています。この日和見微生物は悪玉菌が多い時には悪玉菌の味方をします。善玉菌が多く成ると善玉菌の味方をします。ですから、悪玉菌よりも善玉菌が多く成るまでをEを入れる必要があります。Eが悪玉より優勢になるとへドロが消え悪臭がなくなります。ちなみに、横須賀市での川及び湾に堆積していたへドロがEによって有用発酵分解され有用物になった結果、植物性プランクトンが増え、動物性プランクトンが増え、水生昆虫類が増え、小魚、エビ、カニ、が増えた結果を見学しましたが、皆さんはへドロ状態のすごさを見ていませんから、ただ、普通にしか感じません。この様に、目に見えない有用微生物たちによって良い自然環境が保たれます。

井田お囃子の伝統を！

基本から習い
曲の特徴で叩けるまでに

井田囃子保存会

井田小六年 岩井彩澄

私は、一年生の時から井田のお囃子に通っています。夏祭りや秋祭りなどの様々な場で演奏しているのを見てやってみたいと思いました。

最初は、笛の音に合わせて叩いている手の動きが速く、全然ついていけませんでしたが、



前列左 岩井さん

でも、簡単な曲から叩いているうちに、叩ける様になり、太鼓を叩く事が次第に楽しくなってきました。

お囃子は、決まったリズムで叩きますが、この太鼓は曲に合わせてリズムを作れるので、いくつかの叩き方を覚えれば叩けます。これも、最初は簡単なリズムで次の年はもう少し難しくなりといった様に基本から始めて何年もやっていると、曲の特徴に合わせて、叩き方を変える事も出来る様になります。

と言うのがお囃子の魅力です。これからも練習して、井田の伝統を守り続けていきたいです。

フォトコンテストの募集

井田山、そして江川遊歩道と自然が満ち溢れてる環境で【四季の季節とふれあい】をテーマに皆様から多くの参加募集を募っています。

募集要項

- 期間 平成二十六年十月二〇日(月)～十二月末
- 応募資格 川崎市在住・在勤・在学の方(年齢は問いません)
- 応募規格 2Lサイズカラープリント又はモノプリント2Lサイズ
- 入賞 最優秀賞一点(図書券) ほかの賞二点 技能賞一点 (各図書券)
- 審査 森とせせらぎフォトコン実行委員会
- 入賞発表 平成二十六年十二月一日(月) 入選者には別途通知
- 応募方法 〒二二三〇〇二三 高津区子母口五〇五―一 フォトコンテスト事務局まで郵送
- 連絡先 七八八三二〇五七 遠藤まで

注意事項

- 一、応募作品は本人が撮影したものに限り二点まで。写真の裏側に住所、氏名、連絡先を明記して下さい。
- 二、作品は未発表のもので被写体に係わる肖像権等の権利に十分注意して下さい。
- 三、応募作品は返却いたしません。
- 四、入賞作品は、ネットニュースとホームページにて掲載

江川せせらぎ遊歩道の管理棟雨漏り屋根修理完了 市に要望後、速やかな対応に感謝

森と江川せせらぎネット代表 平井資嘉寿



このせせらぎ管理棟は、私達が進めている各展示物(絵手紙、書展、灯ろう流し写真展等)等々せせらぎ文化発祥の地であります。それ故に年間を通じて多数の方々が健康

増進や交流を楽しんで談笑し、素晴らしい展示物を拝見して心を和ませている会場なのです。しかし雨が降ると屋根があるのに傘をささねばならない状況です。偶々、環境局の人にお会いした時に管理棟の雨対策として屋根の工事をお願いしたと所、早々に着手され台風18号にも大丈夫で安心しました。この紙面をお借りして感謝申し上げます

地産地消

今回、地元の中原区下小田中で親子で手造りケーキを製造販売しているキヤットミントケーキショップ店に仕事中の手を休めて頂きいろいろお話を伺いました。



地元の皆さんには長く愛され「一度、お店のケーキを食べたらまたリピータとして買って頂く事があります。」と輝いていました。

奈美さんが、ケーキ屋を始める動機は何と小さい頃からの夢で「幼稚園の頃お母さんと一緒にケーキ造りの楽しさが忘れられなく将来の夢はケーキ屋と決めていました。」とのことで高校に入ったころに勉強し専門学校(パティシエ)で更に腕を磨き遂に地元で2003年オープンし、その時のお店の名前が猫好きとハープから来ているミントからキヤットミントに決めたそうです。



更に今でも続けているミントの会(絵手紙教室)や生け花教室(お母さん)として隣の部屋に教室を開きお仲間の方々と楽しく活動されています。

手造りケーキについては、「甘さを控えめに添加物は使わずお子さんに安心して食べて頂き、食材は地元の材料を吟味してまた、季節時のお雛さまケーキや、お誕生日ケーキの注文等には気持を込めて自信を持って提供します。」と、将来の希望や展望については「販売だけでなく喫茶をやりながらゆったりと時間を過ごせ、人の集まる語らいの場をつくりたいです。」きつと実現されると思います。

紙面の都合でまだまだ書き足りませんがますます美味しい手造りケーキを期待しています。

遠藤記 田中写真

シベリア鉄道とバイカル湖の旅

続編

松本浩次郎



「日本の北方四島」解決の知恵にはならないか、との声が上がった。22時30分ハバロフスク駅に行き、各自がデコボコのプラットホームでトランクを引きずり、長い階段と跨線橋を渡り乗車ホームに降りた。だが乗車位置が違ふと言われ、また凸凹のホームを移動。高い列車のデッキに乗り込むのも大変だった。我々チームは4号車の全室と5号車の3室を独占した。4人部屋の上下2段を二人で使う一等車なみのデラックスぶりで、何の案内もなく、

深夜12時定刻に走りだした。夜トイレに起きて外を眺めると雨模様。明け方の通過駅近くでは鉄道関係者らしき人影と粗末な住宅が行きすぎるが、後は白樺林と草原が延々と続く。ベロゴルスク駅に着き30分ほど停車。ホームに降りて体操で体をほぐし、女性車掌さんの記念撮影を。食堂車で食べた揚げパンにジャムを付けた朝食が旨かった。食後に行われたみどり先生の「ロシア事情」は興味深く、「ウラジオストク」は「ウラジ・オストーク」の発音が正しく、「ウラジ→征服」「ボストーク→東」の意味だとの解説を傾聴した。みどり先生の「ロシア事情」は毎食後行われた。「ロシア正教」「地球の陸地の6分の1はロシアの国土」「ウラルからイルクーツクがシベリア、イルクーツク以東は極東ロシア」など、ロシアの歴史や膨張主義、同時にロシア人の純朴さも窺えた。だがロシア語学習はみどり先生の熱烈な指導にもかかわらず、「スパシーボ!!」ありがとう「だけしか覚えられなかった。やや晴れてきた草原と地塘の中を列車はひた走る。我々は食堂車でロシア料理の三食を摂り、腹減らしにコーラスをしたり、最後尾の車窓から「日本の尾瀬」のような色とりどりの花が咲き乱れる湿原をカメラに収めた。ンゴル系(顔立が相撲の白鵬のような)の夫婦が心配そうに外を眺めていた。

この旅の続きは次号(35号)でお楽しみください